

「天鷹丸」代船の基本構想

水産実学教育及び船舶職員（海技士）養成教育に必要な装備、機器を搭載した漁業練習船としての機能のほか、必要な科学データの収集、分析が可能な調査用設備及び機材、調査研究に関する調査船機能を併せ持つ洋上教育研究施設に対応した漁業練習船とするため、下記のような船体及び装備とする。

1. 基本要目

- (1) 総トン数：約950トン
- (2) 航海海域：日本周辺、日本海及び遠洋区域（国際航海）
- (3) 航行区域：遠洋区域

2. 船型、基本性能

- ・船首楼付全通二層甲板船、上甲板上に3層の甲板室を設ける
- ・船尾トロール型
- ・トランサム型船尾でシューピース付特殊舵（高揚力型上下端板付舵）を持つ1軸1舵船
- ・航行・漁業操業・海洋観測時に動揺軽減のビルジキール及び減揺タンクを設ける
- ・船尾式 表中層・底びきトロール設備を備える
- ・主観測舷を右舷、汚水、ビルジ、主機冷却水の排水を極力左舷とする
- ・重量軽減、重心の降下、振動の防止に努め良好なる復原性を有する
- ・居住区の防音・防振・防寒・防露及び換気対策は十分に配慮する
- ・最新の海洋・調査観測機器を設ける
- ・音響機器送受波器をソナードームに配置する

3. 主要目

- (1) 総トン数：約950トン
 - 燃料油タンク：約270m³
 - 飲料水タンク：約50m³
 - 雑用水タンク：約80m³
 - 生活排水タンク：約40m³
- (2) 推進・発電装置等
 - 主機関：4サイクルディーゼル機関
 - 連続最大出力約1700kW 1基
 - 低速推進用電動機兼発電機 1台
 - 推進器：4翼ハイスキュード可変ピッチプロペラ 1基
 - 発電機関：主発電機関約450kW 2基
 - 非常用発電機関 1基
 - バウスラスタ：可変ピッチ型、推力約6トン 1基
 - 脱硝装置 1式

(3) 速力及び航続距離

航海速力：約12ノット

航続距離：約6000海里

(4) 船体部

材質：主要構造は、日本海事協会鋼船規則による

使用鋼材は、NK規格材とする

材質及び寸法は、NK鋼船規則及び鋼製漁船構造基準に準ずる

(5) 定員：87名

職員：13名

部員：15名

予備員：1名

教員及び調査員：8名

実習生：50名

(6) 設備・調査機器

漁労設備：ワープネット型トロールウインチ 1台

ラインホーラー 1式

観測ウインチ：CTDウインチ(5000m)、モクネスウインチ(3000m)、
5000mウインチ、3000mウインチ 各1式

クレーン：船尾特殊形状ガントリー上Aフレーム1台、CTD昇降装置1台、
伸縮式3台

生物採集機器等：モクネスネット、網口開閉層別採集装置ネット等

音響計測装置：計量魚探(4周波)、漁網監視装置、多層式ADCP(38・
150kHz各1式)、海底地形探査装置等

海洋観測装置：CTDシステム、XBT/XCTDシステム、採水装置(50×
24本)等

研究設備：ドライ研究室、ウェット・セミドライ研究室、CTD格納庫

船舶保安装置：監視用テレビカメラシステム、赤外線監視装置、船舶警報通報装
置(SSAS)等

GMDSS設備：インマルサットC・ミニC・FB500・ミニM、衛星船舶電
話等